

空間内に、同一平面上にない相異なる 4 点 O, A, B, C がある。 $\vec{OA}, \vec{OB}, \vec{OC}$ は互いに直交し、 $|\vec{OA}| = 1, |\vec{OB}| = 2, |\vec{OC}| = 3$ である。 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$ と表すとき、次の各問に答えよ。

- (1) 線分 BC を $t : (1 - t)$ ($0 < t < 1$) に内分する点を K とし、 $\vec{OK} = \vec{k}$ と表す。このとき、内積 $\vec{a} \cdot \vec{k}$ を求めよ。また、 \vec{k} の大きさ $|\vec{k}|$ を t を用いて表せ。
- (2) 三角形 OAK で、 O から AK に引いた垂線の足を H とする。このとき、 $AH : HK$ を $|\vec{a}|, |\vec{k}|$ を用いてできるだけ簡単に表せ。
- (3) \vec{OH} を $t, \vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて、

$$\vec{OH} = \frac{\left(\square\right) \vec{a} + \left(\square\right) \vec{b} + \square \vec{c}}{\square}$$

の形に表せ。空欄にあてはまる式を求めよ。

- (4) \vec{OH} が 3 点 A, B, C の作る平面に垂直であるとき、 t の値を求めよ。

〔早稲田大〕